

製品安全データシート

SDS番号: P006YI

作成日: 2016/3/24

更新日: 2024/7/29

1. 製品及び会社情報

製品名	製品コード
Protein L-Agarose HC	Sグレード P-006
提供者	
社名	プロテノバ株式会社
住所	香川県東かがわ市西村1488番地1
電話番号	0879-49-0702
FAX番号	0879-49-0703

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

引火性液体 - 区分3
眼刺激性 - 区分2B
発がん性 - 区分1A
生殖毒性 - 区分1A
特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分1, 区分2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性液体および蒸気

眼刺激

発がんのおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(肝臓)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(中枢神経系)

注意書き

概要

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。保護手袋を着用すること。1~4時間(破過時間): ブチルゴム、ネオプレン。保護手袋/衣類を着用すること: 推奨: 実験衣。保護眼鏡又は保護面を着用すること: 推奨: 側方シールド付の保護眼鏡。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。防爆型の電気機器、換気装置または照明機器を使用すること。火花の発生しない工具を使用する。静電放電を防ぐための措置を取ること。蒸気を吸入しないこと。この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察または手当を受けること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が 続く場合：医師の診察または手当を受けること。
保管	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
廃棄	内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。

3. 組成および成分情報

物質の状態

構成成分

	CAS番号	% (v/v)	化学式	ENCS	ISHL	PRTR
エタノール	64-17-5	~20	C ₂ H ₅ OH	(2)-202	-	-
アガロース	9012-36-6			-	-	-

4. 応急措置

眼に入った場合	直ちに清浄な水で15分以上洗眼する。コンタクトレンズを容易に外せる 場合には外して洗うこと。眼の刺激が持続する場合は医師の手当てを受け る。
皮膚に接触した場合	直ちに汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を多量の水と石鹼で洗い流す。皮 膚に炎症を生じた場合は、医師の手当てを受ける。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動し、毛布等で保温のうえ、呼吸しやすい姿勢で休 息させること。気分が悪いときは医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水を飲ませて吐かせる。気分が悪いときは医師の手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状の 最も重要な徴候症状	知見なし。
応急措置をする者の保護に 必要な注意事項	ゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	物質へのばく露の影響が遅れて現れることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消化方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	情報なし。
特有の消化方法 大規模火災	水噴霧でドラムを冷却すること。 警告：放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。
消火活動を行う者の特別な保護具 及び予防措置	消化を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなけれ ばならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用す る。
環境に対する注意事項	漏出した製品が、河川などに排出され、環境へ影響を起こさないよう注意す る。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	少量の場合、乾燥砂、土、適切な吸収剤などに吸収させて密閉できる空容器に回収 する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
二次災害の防止策	着火源を取り除くとともに換気を行う。着火した場合に備えて消火用器材を 準備する。危険でなければ漏出源を遮断し漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<p>みだりに火気、その他点火源となる恐れのあるものに接近させ、若しくは注ぎ、蒸発又は加熱しないこと。</p> <p>取扱い場所に可燃性のもの、又は酸化性のものを置かない。</p> <p>換気が十分な場所でのみ使用し、換気が不十分な場合には適切な呼吸用保護具を着用する。蒸気を吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。</p> <p>使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済の代替容器に入れ、密栓して保存する。</p> <p>容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。モレ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。</p>
保管	<p>直射日光を避け、冷蔵庫(4-8℃)に密閉して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。発火源及び酸化性物質に近づけない。</p>

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会	未設定(2009年版)
ACGIH	STEL 1000ppm (2009年版)
設備対策	換気を十分に行う。屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	
呼吸用保護具	防毒マスク(有機ガス用)
手の保護具	不浸透性の手袋
眼の保護具	保護眼鏡または安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	不浸透性の保護具(前掛け、長靴、保護衣など)

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	懸濁液
臭気	アルコール様(弱い)
色	液体:無色 / ゲル:白色
引火点	密閉式:38-43℃
発火点	データなし
可燃性	データなし
自己反応性・爆発性	データなし
溶解性	水に容易に溶解する。

10. 安定性及び反応性

発火性	データなし
爆発範囲	データなし
安定性・反応性	通常の手扱い条件においては安定。

避けるべき条件
混触危険物質

発火源に近づけてはいけません。
酸化剤

11. 有害性情報

製剤としてのデータはない。エタノールについて記載する。

皮膚腐食性 刺激性(皮膚、眼)	データなし ラビット 400 mg open; Mild (皮膚) ラビット 20 mg / 24H; Moderate (皮膚) ラビット 500 mg; Severe (眼) ラビット 500 mg / 24H; Mild (眼)
感作性	データなし
急性毒性(50%致死量等を含む)	経口 ヒト LDL ₀ 1400 mg/kg ラット LD ₅₀ 7060 mg/kg 経皮 ラビット LDL ₀ 20 g/kg 吸入 マウス LCL ₀ 39 g/m ³ /24H ラット LC ₅₀ 20,000 ppm / 4H
慢性毒性	データなし
がん原性	データなし
変異原性	微生物 サルモネラ菌 (+S9); 陽性 染色体異常 ハムスター (生体外); 陽性 小核 マウス (生体内・腹腔内); 陽性
生殖毒性	データなし
催奇形性	データなし
その他	なし

12. 環境影響情報

生物分解性	エタノール: 容易
蓄積性	データなし
魚毒性	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	アフターバーナー及びスクラッパーを具備した焼却炉で焼却する。 燃え易いので十分注意しながら点火すること。 若しくは、許可を得た産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------

14. 輸送上の注意

輸送上の注意	安全対策として、運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
--------	-----------------------------------------------------------------------

15. 適用法令

消防法	該当せず
-----	------

毒物及び劇物取締法	該当せず
労働安全衛生法	施行令別表第1-4 危険物(引火性の物) 施行令第18条の2別表第9(名称等を表示すべき危険物及び有害物) 施行令第57条の2 名称等を通知すべき有害物質
PRTR法	該当せず

16. その他の情報

引用文献	エタノール(ナカライテスク株式会社)の製品安全データシートSDS No.14713を参照。 コスモゲル(ナカライテスク株式会社)の製品安全データシート SDS No.GHS-02198-5 を参照。 Thiophilic-Superflow Resin (タカラバイオ株式会社)の製品安全データシート 製品コード 635616 を参照。 エタノールの危険有害性の要約(オンライン安全衛生情報;安全衛生情報センターホームページ)を参照。
注意事項	危険有害性の評価は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関して保証するものではありません。全ての化学製品には未知の危険有害性がありえるため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。